

## ② 新書出版

### メリット

PR出版の特長に概ね準じますが、新書出版ならではの特長として

- ・ 新書は、個人の思いや主張、メッセージを広く伝えることに適した判型です。
- ・ 新書は、定価を抑えることができ、読者は気軽に手に取ることができます。
- ・ 単行本よりも判型が小さく、文字数が少ないので、短い原稿でも出版できます。
- ・ 表紙カバー、本文のデザインが定型なので、制作期間を短くできます。

**「HHCS新書」(ヒューマン・ヘルスケア・システム新書)の  
蔵書として書店・ネットに流通！  
積極的な広報・宣伝・販促活動に取り組んでいきます。**



## ② 新書出版

### 出版費用

新書判（172mm×110mm）

ソフトカバー（並製本）

	150頁まで	200頁まで	250頁まで
1000部まで	973,000円	1,063,000円	1,142,000円
1500部まで	1,077,000円	1,197,000円	1,307,000円

- 原稿持込の場合の費用（税抜）です。
- 編集制作一式、印刷・製本料金、書店流通に関する広報・宣伝・販促活動費を含んでいます。
- 表紙カバー4C（カラー）、本文1C（モノクロ）ともに定型のデザイン・レイアウトになります。
- 原稿は、Microsoft Wordなどのテキストデータを支給。手書き原稿の場合は、データ入力料が別途発生します。
- 写真・図版・イラストなどは画像データを支給。図版やイラストを弊社にて制作する場合は別料金になります。
- 取材によるライティング（聞き書き）の場合は、上記金額に80～100万円が加算されます。  
東京近郊以外の取材は交通費（実費）が2人分発生します。取材は1回4時間を目安に4～6回行います。
- 書店流通に適さない内容と判断した場合は、自費出版をお勧めすることがあります。
- 1500部までの場合、第2刷以降の費用は弊社が負担し、印税（本体価格×印刷部数×10%）を還元します。
- 別料金にて、出版記念セミナーや著者の講演会をセッティングさせていただきます。新聞広告の仲介も承ります。